

視察・研修報告書

視察・研修先	議会改革を次の段階へ ～市民を巻き込んだ政策サイクル～
日時	2024年7月26日(金) 13:00～16:00
場所	全員協議会室
テーマ	「住民自治の根幹」としての議会の作動 議会基本条例と住民と歩む議会のもう一步
対応者 (講師)	大正大学地域創生学部公共政策学科 江藤俊昭 教授
概 要	
<p><意義></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「住民自治の根幹」としての議会の作動を明確化する <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治基本条例の条文ごとの評価基準を明確化する ・組織と権限の拡充を行い評価する <p><住民福祉につなげるサイクル評価></p> <p>(1) 自治基本条例の形式、内容を住民福祉の向上に連動させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会改革と住民との関係 <ul style="list-style-type: none"> ①住民の不信払拭のための議会活性化（委員会の公開等） ②住民と歩む議会等の新たな議会運営 ③住民の福祉向上につなげる <p>(2) 議会からの政策サイクル</p> <ul style="list-style-type: none"> ①三重県議会：新しい政策サイクル <ul style="list-style-type: none"> ・首長等の縛り ②会津若松市議会：議会からの政策サイクル <ul style="list-style-type: none"> ・住民との意見交換会での意見をもとに政策提言する ③飯田市議会：街づくり委員会との協働による政策サイクル <ul style="list-style-type: none"> ・住民との意見交換会での意見をもとに政策提言、及び議会による行政評価から決算審議、予算要望、予算審議等 <p><議会からの政策サイクルの充実課題の原則></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年的に作動、討議の場を設ける <ul style="list-style-type: none"> ①通年的に活動 <ul style="list-style-type: none"> ・定例4回でも閉会中審査を可能にする。通任期を意識する。 ②討議空間を創り出す <ul style="list-style-type: none"> ・質問重視から審議重視に変える ③最近の動向 <ul style="list-style-type: none"> ・所管事務調査、連合審査、委員会代表質問、議案審査の重要性、委員長のリーダーシップ 	

所 感

今回の勉強会で、議会基本条例の重要性が理解できたとともに、拡充の必要性が大きな課題であると痛感した。

議会基本条例は、より市民との距離が近づくよう身近な内容に見直しを行っていかねなければならない。大野城市議会も見直しを行っているが、もっと見直しの頻度と精度を上げなければならないと思う。

また、議会の開催については、より市民との距離を近づかせるためと、議会の活性化のためにも、現在の定例4回よりも通年議会の方が良いのではと思われる。今後、通年議会については先進地視察研修等で検討していきたい。

-作成者 平井 信太郎 -